

## 【22\_017/技術系メルマガ】『目線』の決め方に迷ったとき

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

年末年始あたりから、胃腸炎に始まり延々風邪を引き続けてる妹者なのですが

ここにきて昨日からまた40度の熱を出したりと、身体の中が大忙しのようです。

この風邪ウィルススタンプリアーは、一体いつコンプリートされるのやらですが

本人はのんきに家の中を遊び(≡暴れ)回っているので、ぐったりされてるよりは良いのかなと思っています(苦笑)

┌  
└─┬─ 本日のトレード(GBPAUD ロング)  
└──────────────────┘

日頃、トレードするタイミングが不定期なので、気まぐれアウトプットですが(笑)

ちょうどこのメールを作っている最中にチャンスがあったので

▼こんなトレードしてます(ツイート参照)▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1482943980338049027?s=20>

日足が高値圏にいるので、良い位置で入りたい人は無視してもいいくらい。

ですので長期間保有はしない前提です。

『目線』の根拠は、H4~H1足のMAとの位置関係を考慮しつつ

H4/ 午前中の上げで、この時間足では高値更新。

H1/ 20SMAは乖離の位置関係ながら、角度が緩んでいないのでショートは難しい

この辺は、特にMAを見慣れている人なら納得してくれるかなあとと思います。

昼過ぎのエントリーなので、ロンドン初動で潮目が変わる恐れもあるので

勢いが内容なら建値で逃がすか、16時頃の値位置で引き上げて

LN時間以降に改めてポジションを考えるので良いな、という感じです。

□  
■ 『目線』に迷いはつきもの。だから自分で『決める』

さて、実はこのテーマ

今日のモーニングライブのネタにしたかったのですが、今日は妹者の事もありお休みさせていただいたので

文章形式でお送りしていこうと思います。

これまでのメルマガや【デイトレ講座】の中でも言及していますが

『目線』を固定する目的は、自分のトレードの 一貫性 を確保するため

であり決して「先の値動きの予想を的中させるため」ではないということです。

その前提の履き違いが、実際のところ多いので

どうしても『目線』を決めるのに「確証となる根拠」を探しすぎてしまい、それが迷いの原因になりがちです。

そこで、改めて『目線は(自分で勝手に)決めるもの』という認識を持ってほしいのです。

そのためには『決めるための基準』が必要で、これを確かなものとするために 検証・フォワードテスト が意味を持ちます。

…とまあ、ここで話が終わってしまっても途方に暮れてしまいますよね。

一つ、『基準』作りのヒントです。

水平線とMAをトレードの軸としている人は、まず『その日の現在値がどのラインに近いか』

これをチェックしましょう。

例えば、日足のサポートに近いのなら、サポートに向けてショートは打ちたくないからロング目線（ショートはしない）

逆にレジスタンスに近いならショート目線（ロングはしない）

次にその目線方向に下位の時間足（主にH1～H4足）で、『邪魔なMA』がないかをチェック。

特に『目線』と逆方向に角度を付けて来ているMAが近くにいるときは、うかつに手を出さないことです。

そして最後のとどめ。M15足以下『MAが収縮』しているかを確認。

ここまで条件が揃っていれば、僕はその日の監視通貨はコレに決まりです。

また、僕らとは違うテクニカルを軸にしている人も、このように上から下の時間足において

『どんな条件が揃ったら目線が固定できるか』をしっかり言葉・イメージで明確にするよう意識してみてください。

それさえ固まれば、検証するポイントも、どの通貨に注目するかでも迷う事は大幅に減るはずで  
す。

今日からでも、是非やってみてくださいね。

それでは、またメールします。

クロガキ(クロ)